

オーディオ実験室収載

ZANDEN Model 120 の展開(4) —ベートーヴェン全集を聴く(4)—

1. 始めに

前報(3)に引き続き、ベートーヴェン全集を集中的に聴いていきます。

2. Model 120 設定条件の試聴方法

カートリッジは、My Sonic Signature Gold で、接続に関しては、ZANDEN Model 120 の活用(33)同様、下記のとおりとします。すなわち、アンバランス／バランス変換プラグを用いて BACU-2000 経由で Model120 にバランス入力し、アンプは Langivin 6V6pp を使用しています。

LINN LP-12→(フォノケーブル)→(アンバランス／バランス変換プラグ)→
(BACU-2000) →Model120(バランス入力端子→アンバランス出力端子)→(アンバランス／バランス変換ケーブル)→P&G フェーダー(バランス入力端子→
バランス出力端子)→(位相反転ケーブル) →BACU-2000→(バランス／アンバランス変換プラグ：2番ホット) →(アンバランスケーブル)→Langivin
6V6pp

LINN LP-12 の再構成(22)で報告しましたように LP-12 の電源を交換し、外付けと
しています。

なお、要時、クロスチェックの意味で、カートリッジは、ZYX R100-EX とし、接
続に関しては、下記も使用します。すなわち、AACU-1000 経由で Model120 にアン
バランス入力しています。

Garrad401→(フォノケーブル) →(AACU-1000)→Model120(アンバランス入
力端子→アンバランス出力端子)→(アンバランス／バランス変換ケーブル)→
P&G フェーダー(バランス入力端子→バランス出力端子) →(位相反転ケー
ブル) →BACU-2000→(バランス／アンバランス変換プラグ：2番ホット)
→(アンバランスケーブル)→Langivin 6V6pp

音源としては、下記のカラヤンのベートーヴェンの交響曲全集の盤を選んで聴いて
いきます。これらは、Y 氏から頂戴したものです。

今回は、交響曲集で第 9 番とウエリントンの勝利(戦争交響曲)および行進曲集を聴
きます。

交響曲 9 番の演奏はヘルベルト・フォン・カラヤン指揮のベルリンフィルで、その
他はベルリンフィルの管楽器のアンサンブルの演奏で次の盤です。

ドイツグラモフォン MG-9507～9508 交響曲第 9 番

ドイツグラモフォン MG-9509 ウエリントンの勝利(戦争交響曲)・行進曲集

3. Model 120 設定条件の試聴結果

Model 120 の設定は、前報(1)と同じく、TELDEC の逆相、第 4 時定数は Mid で聴いていきます。

交響曲第 9 番は、インパクトのある 1 楽章、2 楽章に続いて静かな 3 楽章があり、そして 4 楽章が始まると、カラヤンらしい手慣れた盛り上がりを見せます。

ウエリントンの勝利(戦争交響曲)と行進曲集は初めて聴くものです。

ウエリントンの勝利は、近年はあまり演奏されませんが、ナポレオン戦争の終焉を祝うものとして作曲され、大きな成功を収めたそうです。左右に分かれて小太鼓とトランペットが応酬するという戦闘を模した曲で、打楽器が砲撃の様を表現します。行進曲集は、ハイドンのラデツキー行進曲ほど有名ではありませんが、なかにはマーチングバンドで演奏してもよいような曲もあります。

4. まとめ

前報(1)から本報まで 4 回にわたって 1961 年から 1962 年にかけての録音の、カラヤンのベートーヴェンの交響曲全集の盤を聴いてきました。それぞれにおいてカラヤンらしい解釈を聴くことができました。

以上